

新九郎通信



発行 小田原市栄町 2-13-3 (株) 伊勢治書店 3F ギャラリー新九郎 木下泰徳
e-mail: kinoshita@iseji.net

暑い暑い夏でした。連日の熱中症報道には、改めて自然の脅威を感じた夏でもありました。こんなにエアコンのお世話になった夏はありません。まだまだ残暑厳しい日々が続きそうですが、皆様もどうぞご自愛ください。この夏、涼しい映画館にはよく足を運びました。日本映画が今盛況です。どの映画も沢山の観客でした。多くの時間と人力で制作される映画も、アートと同じ大切な文化です。今月は小田原映画祭があります。猛暑の中、皆、手弁当で開催に向けての準備をしています。私たち市民の力で、ぜひ成功させたいイベントです。いよいよ9月。芸術の秋の開幕です。夏休みの間の壁塗りでリフレッシュした新九郎では、ずっといい展示が続きます。皆様のご来廊お待ちしております。



新九郎 9月の展覧会のご案内

会 期	展 覧 会 名	見 どころ
9/1(水)-9/6(月)	第14回アトリエ・コネコ作品展	児童の作品展、油彩・水彩・セル画・ダンボールの作品等 66点
9/8(水)-9/13(月)	第24回小田原女流展	西湘画壇で活躍する女流画家たち 油彩・水彩(抽象・具象)約25点
9/15(水)-9/20(月)	第58回水曜会洋画展	18名の会員による油彩画約40点。 抽象・具象(風景・静物等)
9/17(金) イベント	新九郎デッサン会 18:15~20:45	2時間固定ポーズ、コスチューム アマチュアモデルです。 会費 1500円
9/22(水)-9/27(月)	第二金土デッサン会展	絵画の基礎と言われる人物デッサンを勉強している会。講師は無く、各自、自由に描いています。
9/29(水)-10/4(月)	つばめ写友会展	20名の会員による写真展。風景・草花・人物・各地の行事等自由なテーマの作品約60点。

近隣・友の会会員の展覧会情報

第22回絵好会展(エコー)	9月8日(水)~9月13日(月)	飛鳥画廊(0465-24-2411)
府川晃 木漆展	9月15日(水)~9月20日(月)	飛鳥画廊(0465-24-2411)
第4回野口均作陶展	9月22日(水)~9月27日(月)	飛鳥画廊(0465-24-2411)
第69回松永義夫日本画展	9月29日(水)~10月3日(月)	飛鳥画廊(0465-24-2411)
第3回西さがみ美術交流展	9月1日(水)~9月5日(日)	小田原市民会館 2F 展示室 0465-22-7146
39th 南足柄市美術展	9月26日(日)~10月3日(日)	南足柄市文化会館 2F(0465-74-0772)
川合昭二&松野光純(画歩人)二人展	9月23日(木)~9月27日(月)	ツノダ画廊(0465-22-4263)
NIKI/安藤ニキ 初個展	9月18日(土)~9月24日(金)	平賀敬美術館内ギャラリー石の蔵(0460-85-8327)
はげ八なかまの素人写真展	9月1日(水)~30日(木)火定休	はげ八館 (0465-22-0945)
ENK DE KRAMER 展(エンク デ クラマー)	9月4日(土)~10月31日(日)	ナラヤカフェギャラリー(0460-82-1259)水4木休
吉田直嗣展(陶芸)	9月4日(土)~9月13日(月)	うつわ菜の花(0465-24-7020)
内田鋼一展(陶芸)	9月25日(土)~10月4日(月)	うつわ菜の花(0465-24-7020)
戸樋谷哲生水彩スケッチ展-ヨーロッパの街並み	9月15日(水)~20日(月)	お堀端画廊(0465-23-7819)
佐藤北久山 創作木版画展	9月18日(土)~10月11日(月)	松永記念館(0465-23-1377)
夏目日出男個展	9月29日(水)~10月4日(月)	アオキ画廊(0465-23-5624)

ようこそ平塚美術館

平塚美術館学芸員 勝山 滋

平塚市美術館念願の堀文子展を秋に開催します。展覧会の準備はたいへんで、北は秋田、南は兵庫まで借用日程をたて、詳細なデータを付したカタログをつくり、来館者に楽しんで頂ける会場装飾をひとりで考えます。《葉切り蟻の行列》はメキシコ旅行でひたすらに葉を運ぶ蟻を描きます。そこには生活があり自然の摂理があります。今回展示室へつづく通路の壁面にこの蟻たちを貼り、来館者を入口へといざないます。日本画の平面性と厳正なフォルムを感じていただくとともに、蟻たちの美しい生活をわれわれも見習いたいという担当者の生意気なメッセージを込めたいと思っています。





酒匂川、高校、田んぼ・・・そのアトリエは、私の散歩コースで見かけた事のある『アトリエ碧』だった。お迎えくださったのは豊島シズ枝さん。西湘地区で知らない人はいない女流作家の重鎮である。そのお年を伺い驚いた。今年87歳だという。張りのある肌、よく通る声。まっすぐな視線でよどみなく話す姿はまさに現役そのものである。大正、昭和、平成と激動の時代を生き抜いてきた世代でありながら過去など微塵も感じさせないその素顔は、夢見る少女のようにエネルギーに満ちていた。若いころはスポーツで活躍したという。そんなアクティブな豊島さんが絵と出会ったのは、30歳の頃だ。怪我で運動の出来なくなった時、一生取り組むものとして子どものころから好きだった絵を描くことを選んだのだという。

井上三綱を師と仰ぐ。そのアトリエには5、6年通ったという。技術を直接学ぶというより身近で見続けた師の影響は大きく、作品には

今もその面影を見ることができる。転機は43歳に訪れた。当時勤める会社から館林への異動命令だった。役職は局長。女性管理職の大抜擢だった。しかし、彼女はそれをあっさりと拒否し退職を決意した。「絵が描きたくて描きたくてしょうがなかったからだ」とこともなげに話された。それから44年、絵画教室の指導をしながら画家として一本道を歩んできた。

豊島さんの作品には女性がよく登場する。裸像の形の美しさにひかれ、平面で立体を描いてきたのだという。円柱のような首、美しい曲線の胸、張りのある腰、誇張された太腿に引き締まったふくらはぎ、手足の指先までそこにはいつも血の通った女がいる。一見抽象に見える女性像は具象の追究なのだと切り切る。やがて顔だけで人間を描きたいとモチーフは変化する。壁にかかる作品群は豊島さんの画歴を物語るかのように描く楽しさにあふれ、私は夢中でアトリエ中を見まわっていた。年を重ねるごとに色数が増え、暖色系、華やかさが加味されたアトリエはいい空気に満ちていた。

最近の作品には大根がよく登場する。断面に惹かれ描き続けているのだという大根シリーズは実にユニークなモチーフだと常々感じていたことである。ご本人を前にして不思議とどこか作家と重なるものを感じた。土中に根付く見事な存在感、スパッと切った断面の瑞瑞しさ、自由に姿を変える食材としての多様性、その淡白な食材は出汁を吸収すると見事な料理に変身する。その画面にはたっぷりと銀箔が使われ、本物の持つ輝きは庶民の食材大根をより瑞瑞しく美しく引き出していた。

豊島さんは、もうひとつ大きな仕事を担ってきた。今は亡き近藤和子さん、加藤千恵さんと始めた女流展は今年で24回目を迎えた。50代を中心としたメンバーは現在12名。小田原の美術界を支える精鋭だと自負している。周りの女性に刺激を与え続けてきたこの会には先生も弟子もない。制作を通して、本当の人間として絵描きと絵描きで話したいのだと仲間を語る。あくまでも対等を貫く豊島さんの夢は、小田原に美術館を作ることだという。倉庫で保管しているご自身の作品は、将来的には家に展示してどなたにも自由に楽しんで頂ける自宅美術館にしたいと目は輝く。

最愛のご主人を亡くされ、今はこの広い家にお一人で暮らしているのだという。階段の多いお住まいを身軽に上り下りされ、お住まいもアトリエも整然とした暮らしぶりはまさに現役、一人暮らしがよく似合う。「生きるために描き、描くために生きる」というそのエネルギーは、一つの道を生き抜いてきた人の持つ強さと美しさがにじみ、大きな力をいただいた。たっぷり2時間のアトリエ訪問にお疲れも見せず、外までお見送り下さる豊島さんからは、風に乗ってほのかな香水の香りがした。

(新九郎友の会 木下和子)



第4回小田原映画祭シネマトピア

2010年9月25日(土)~10月3日(日)

会場：小田原城銅門 小田原コロナシネマワールド
ダイナシティ TOHO シネマズ小田原

小田原城銅門野外上映会 (オープニングイベント)

◆9月25日(土) 17:30~(雨天 ミの丸アリーナ)

オープニング作品上映「しゃったーず・4」

「小田原ウメ子の映像集」上映

銅門ライブ(小田原城ミュージックストリート協賛)

10/1(金) 日本映画の名作「肉弾」「幕末太陽伝」

「アダン」日本画家田中一村・榎木孝明主演

10/2(土) 日本映画の名作「雁の寺」「独立愚連隊」

「ROCK E YAZAWA」ミュージックストリート協賛企画

10/3(日) ミニミニムービーコンテスト入選作品

小林でび監督作品特集(昨年のショートフィルムコンテストグランプリ監督)

「泥棒日記」「アニマル・キングダム」

☆クロージング作品

「武士道シックスティーン」

第4回小田原映画祭シネマトピア

「アダン」上映 新九郎推薦

日時 10/1(金)18:30-21:20

会場 小田原コロナシネマワールド

○小田原ゆかりの映画

追悼 佐藤朝泰プロデューサー

NPO 法人おだわらシネマトピア理事長・小田原映画祭副実行委員長を務めた佐藤朝泰さんが昨年末に他界しました。

佐藤さんの企画した映画です。

孤高の画家田中一村の半生を

榎木孝明が演じた名作です。

【千葉市美術館】

田中一村—新たなる全貌—

8/21(土)~9/26(日)

【NHK日曜美術館】放映

NHK 教育テレビ

9/12(日)9:00~

9/19(日)20:00~



8月の事

三島のコレクターの井上三綱作品5点が小田原市に寄贈されることになりました。加藤市長は7月、井上皓子さんのお宅を訪問されました。井上三綱画伯の作品と人間への理解を深めるとともに、皓子さんとの友好な関係を築くために一歩前進をしたこととなります。井上三綱作品に関しては、市も短期的視野に立った迅速な対応をしていることを知り安心しました。収蔵庫に関して、収蔵量の面でまだ余裕のある尊徳記念館の収蔵庫の機能整備・活用等について検討を始めたそうです。小田原美術館フォーラムの最初の懸案であった、「井上三綱作品のコレクション」充実に向けて良い方向に進み始めたことは大変喜ばしいことです。 ☘